

# なかまの

NO.508 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙  
2018年11月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29  
TEL018-823-7748 fax018-823-7751  
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp



## 県本部第20回定期大会開催

10月21日、建交労秋田県本部第20回定期大会を秋田市の秋田県生涯学習センターで開催しました。大会には、代議員・役員ら29人が出席しました。

石塚委員長のあいさつの後、県労連の三浦議長と日本共産党秋田県委員会常任委員・参議院選挙区予定候補の藤本ゆりさんから来賓のあいさつをいただきました。また中央本部、秋田中央法律事務所、第一合同法律事務所、各県本部・支部から寄せられたメッセージが紹介されました。

大会では、6人が発言しました。(左下) 執行部の提案した総括と決算報告、運動方針案と予算案は満場一致で採択され、左記の役員を選出しました。

### 秋田県本部の新役員

執行委員長	石塚 優 (秋田運送支部)
副執行委員長	高橋正彦 (ダンプ支部)
書記長	田中喜三男 (ダンプ支部)
書記次長	佐藤博之 (農林支部)
執行委員	小松一利 (本荘清掃分会)
執行委員	鈴木 諭 (秋田運送支部)
執行委員	工藤有己 (個人加盟)
会計監査	佐藤一義 (ダンプ支部)
会計監査	登藤義広 (秋田運送支部)

※執行部は副執行委員長の鹿兒島 巖さんと執行委員の長谷川久雄さんが退任しました。おつかれさまでした。執行委員で工藤有己さんが新任、それ以外は再任。敬称略。

### 第29回なくせじん肺全国キャラバン秋田県行動実施

10月3日、第29回なくせじん肺全国キャラバンの秋田県行動が行われ、労働局、県知事、県議会への要請の他、JR 秋田駅前で行った。

行動には、建交労、県労連、弁護団の地元勢に加え、東北地協労職部会の加藤議長、宮城農林支部の大下書記長から駆けつけていただき、総勢18名でキャラバン行動を行いました。要請では、要請項目のほとんどが規則、制度にかかわるものであり「本省へ伝える」、「国へ伝える」等の回答でした。

労働局には労働行政の後退に繋がりにくい報道(本年度から3年間で監督部署の監督官を571人増員、労災部署の担当官を666人減員)について問いただしましたが、「報道は把握している」、「根拠が定かでない(どこからの情報なのか)ためコメントは控える」との回答でした。

また、東北ブロックの要請書には統一要請書に1項目「医療機関の拡大拡充」を加え、県内で発生したじん肺健診に関わるトラブルの実例を報告し、早期対応を求めました。労働局も県も医療機関が少ないことは認識し、医学生への奨学金制度などで拡充を図っているものの、成果が現れるまでには5~6年かかる見通しです。しかし、「患者はそこまで待ってられない」と強調してきました。

報告集会では、キャラバン実行委員会を代表して秋田県労連の三浦議長が開会挨拶をし、県本部佐藤書記次長より行動報告があり、県本部田中書記長の閉会挨拶で秋田行動を締めくくりました。



秋田駅前での宣伝署名行動

■ご支援ありがとうございました。10月16日より職場復帰しました。雇止めしたセンター長は異動にならず、雇止めはおかしいと声を上げていたチーフは、即場復帰の前日異動になりました。仕事をがんばっていきたいと思います。 個人加盟・根本

■セメント事業所で働いている。震災前から運賃が上がっていない。荷主の要求がきびしく、成瀬ダム本体工事にセメント輸送車を買ってほしいと言われ、何台も買うことになった。新しい賃金体系の見直しを会社にもとめていきたい。 秋田運送支部・鈴木

■トンネルじん肺根絶の第5陣が7月に和解した。じん肺は、労働時間を少なくして粉じんを吸わないようにすれば、発症をおさえられる。しかし、現実には10時間労働があたりまえになっている。 農林支部・佐藤

■労働委員会で団体交渉拒否が不当労働行為と認定され、命令を守らない会社に裁判所から過料(罰金)が課せられた。要求書を出しているが、交渉をおこない要求を実現していきたい。 だんぷ支部西山運輸分会・山中

■末広運輸は定期便で走っているのだから、収入はほぼ同じ。最賃があげられるたびに基本給がちょっとずつ上がってきた。今回、有休の未払い分を10月末で清算して、11月分の給料から多い人で3万5千円、基本給が引き上がるようになった。あまり会社を追い込まないよう、とりくんでいきたい。 末広運輸分会・佐藤

■イージス・アショア配備に秋田県はハッキリと反対を表明していない。沖縄、山口のとりくみをお手本にとりくみたい。会社はサービス残業が当たり前前の雰囲気がある。残業を5時からするのに社長の了解がないと手当てが出ないとされてしまっている。上司は社長を持ち上げたがるが、若い人たちはおかしいとおもっている。改善にとりくみたい。 個人加盟・工藤

### 八面六臂(はちめんろくべい)

文化の日、町内会主催の普通救命講習会に安全部員として参加しました。心肺蘇生のための胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用を人形相手に実際に行ってみました。▼いままでも、そういう処置が必要な場面に遭遇したことはありませんが、やり方を練習したことで、いざという時には経験が役立ちそうです。参加された方の親族で講習会后にそれが活かされる事態がおき、胸骨圧迫を繰り返し、救急隊が来る前に心臓が動き出したそうです。▼合わせて口から肺に息を吹き込む人工呼吸法も実践しました。AEDは自動体外式除細動器のことで、心臓の心室細動によって、全身に血液を送れないとき、電気ショックを与えて正常な機能を回復させます。最近では公共施設や会社に設置され見かけるようになりました。スイッチを入れると音声で工程を示してくれるので、扱いがしやすいといえます。▼また物が気管をふさいだ時の対処法も学びました。背後から抱きかかえ、みぞおちをグッとおす、横向きにして背中をポンとたたいて空気の圧力で異物を紙鉄砲の原理で押し出す。誰もが一度は講習を受けるべきと感じました。▼運転免許更新時に時間がかかるけれども実施できるのではと思います。AEDは価格をみると最新のものは50万円くらいあります。秋田県40万世帯として10軒に1個置くとして200億円の費用。3000億円かかるかも知れないイージス・アショアに比べたらどれだけ命が守られるか考えてみたい。(喜)

# 8%でも重いのに消費不況に拍車をかけるだけであり、やめさせなければならぬ。

消費税10%を2019年10月には、とばかりに安倍首相は「予定通り」行つと繰り返し明言している。だが、8%の重みで個人消費はまだまだ回復できないでいる。10%への引き上げは消費不況に拍車をかけるだけであり、やめさせなければならぬ。

## 8兆円の負担増

5%から8%に引上げられた2014年4月の消費増税による国民の負担増は8兆円。一気に景気が冷え込み、予定されていた消費税10%への引き上げは2度にわたり中止に追い込まれた。

今も個人消費の不振は続く。18年4〜6月期のGDP(国民総生産)では個人消費が0.7%伸びたが、前期の寒波や野菜価格高騰の影響が大きい。

総務省の「家計調査」によると、14年4月の消費増税後、ほとんどの月で消費支出は前年同月比マイナスである。18年4〜6月期平均の消費支出も実質2.6%減だった。

## 一時しのぎの「反動減対策」

政府・与党は消費増税前の駆け込み需要などの「反動減対策」として「消費税還元セール」の解禁、住宅・自動車の減税措置などを検討している。

だが「還元セール」解禁は一時しのぎに過ぎない。住宅・自動車減税も一時的で、恩恵を受けられるのは購入できる一部の人に限られる。

「軽減税率」も導入するという。飲食料品(酒類と外食を除く)と新聞(週2回以上発行で定期購読契約)を対象に税率を8%に据え置くというもの。これは据え置きであって、軽減とは言えない。

しかもファーストフード店で持ち帰りは税率8%で、店内で食べれば10%。トラブルや混乱が生じる恐れがある。8%から10%への引き上げで国民の負担増は「軽減税率」導入でも、1人当たり年間約2万7千円になる(政府の試算、16年1月国会答弁)。

買物の度に10%の重みをすしの感じるこゝになれば、購買力低下は避けられない。低所得ほど負担が重い消費税に依存しているのは、個人消費拡大による経済成長も財政再建も望めない。



## 秋田運送支部が定期大会

10月27日、秋田運送支部が定期大会を開催しました。渡部委員長は「会社は退職者が続く中で、待遇を改善せざるを得ない状況にある。春闘で力を合わせてがんばりたい」とあいさつ。満場一致で議案を採択し、次の三役と役員を選出しました。

委員長・渡部直樹、副委員長・加藤幸泰、川和田章一、書記長・鈴木 諭(敬称略)

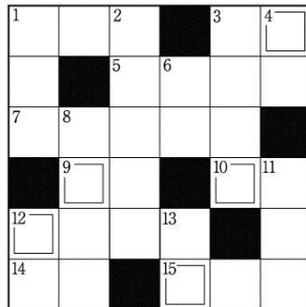


## クロスワードパズル

カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。

【タテのカギ】

- ①毎晩 ②胸がすくような勝利
- ③——クラブに入り馬術を習う
- ④日本の夏は高温—— ⑥——たる目的 ⑧苦しい立場。——に立つ ⑩——乱れず行進する
- ⑫——30年の民家 ⑬毎朝——を洗う



【ヨコのカギ】①まるっきり。——な嘘 ③彼は——ともに認める子煩悩 ⑤馬子にも—— ⑦次の週 ⑨文明の発展に——する ⑩——にして返す ⑫釣りの成果 ⑭からっぽ。——席 ⑮教えを受け世話になった先生

## 【前回の答え】 マツタケゴハン(松茸御飯)

応募者3名、正解者3名でした。

個人加盟の笹耕市さんに1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎です!

応募のしめ切り⇒11月25日の消印まで有効。発表は次号で。

ヒント→〇〇〇タ〇…今は禁止? なつかしいにおい

余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。

とく名、ペンネーム可。

仲間の皆さん、ふるって応募を!

《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号

Fax. 018-823-7751

建交労秋田県本部「なかま」クイズ係

## 仲間の声

松茸か…香りを楽しむだけでなく、食べたい。風邪が治らない。松茸を食べると治ると思う…。でも懐(ふところ)がきつて風邪をひく。

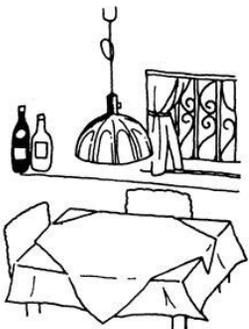
猛暑の夏が終わった。でも県内全域に夏の余韻が残っている。金農ナインです。一句

雑草や

のびのび芽を出せ

除草せず

個人加盟 笹 耕市 71歳



暑かった夏も過ぎてしまえば、あっといふ間で今では朝晩に暖房が欲しいくらいになりました。

農林支部 R・O 94歳

豪雨に地震に台風と日本のみならず、世界各国で自然災害が多く起こりました。今年が良い年だったと思える様に、残された2018年を悔いなく有意義に過ごしたいです。

ダンブ支部

佐藤正樹 56歳



太平山前岳のブナ林

